



映像



地域避難所は通信環境整備等が必要

再エネや蓄電池の整備を検討



たきょう 田境 議員

問 防災は、在宅避難が基本とされ、住宅の安全性がそのまま命を左右する。

答 地域避難所は情報共有の拠点であり、住民が自ら情報取得できる通信環境整備や、停電長期化を見据えた避難所の電源確保と再生可能エネルギー活用の視点が必要では。

問 危険管理監▼基幹的避難所の一部を除き整備はなく、停電時の電力確保が課題と認識。復旧は約1週間程度とされるため、施設改修に合わせ国庫補助金の活用も含め、再生可能エネルギーや蓄電池の整備を検討する。

問 「周知から行動」へ、「計画から実行」へ、全体の転換の問題であり、実際に動くしくみへ、どのように展開するのか。



最新の防災機能を備える地域避難所「やまびこ館」

答 自助を原則に共助、公助の連携体制づくりが重要と認識している。自助の重要性、共助の必要性を訓練等で継続的に周知し、防災意識の向上を図る。施設や情報ツール整備は費用や運用面を踏まえ検討し、ハード・ソフト両面から防災・減災対策を進めていく。



映像



町民プールの在り方と継続は

安全性を担保し対応を見極めたい



まるやま 千代子 議員

問 町民プールの老朽化と今後の運営方針が報告された。設備更新・改修の調査業務で、令和8年度でいったん休止する計画である。

答 令和8年度の営業はいつまでか。教育部長▼令和9年3月31日まで。

問 経年劣化で改修が見込まれる設備は。

答 温水ヒーター、受電設備、造波設備、起流ポンプ、更衣室など。屋外プールの地盤沈下関係もあり、今後検討が必要である。



子どもたちの歓声が響く屋外プール

問 今後の町民プールの在り方と継続は。

答 学校プールの代替を含め、令和9年度以降の屋内プールの営業継続の可否を検討。町長▼屋外プールの断層亀裂、地盤沈下などの経費や休止期間の後、安全性を担保した上でリニューアルできるか、今後の対応を見極めたい。

若い世代もスポーツ開放の参入を容易に

施設の利用方法を検討する

社会福祉協議会の体制充実と拠点整備を

地域福祉の拠点として移転構想を立てる



いなよし てる お
稲吉 照夫 議員

防災委員会の半分を女性委員に



映像

地元の決定に委ねている



南海トラフ地震が今後30年間に、60〜90%の確率で発生すると報じられている。

昨年度町内各区の避難所に、ファーストミッションボックスが設置され、災害への備えが前進した。次は避難所運営に関する準備訓練が必要と考える。

問 ファーストミッションボックス設置後の訓練は。
答 危機管理監▼10力所の地区防災訓練、



ファーストミッションボックスに
収納されている手順書

こうした女性の会、防災リーダー研修で実施。

問 各区の防災委員会メンバーの半分を女性にしては。

答 女性の役割は周知しているが、構成については地元の決定に委ねている。

問 車中泊で避難生活する人へのフォローは。

答 近い避難所で、避難者登録をする必要がある。

JA幸田支店前に押しボタン式信号を



映像

公安委員会に上申、今後設置を判断



県道岡崎幸田線の、歩道整備事業の進捗状況と今後の展開を問う。

問 現在の工事区間の歩道未整備2力所の進捗状況は。

答 建設部長▼今年度完了で進んでいる。

問 歩道整備に併せ、JAあいち三河幸田支店前の横断歩道に、押しボタン式信号機設置の取り組み状況は。

答 危機管理監▼5月に愛知県公安委員会へ設置を上申した。今後現場状況を考慮し、設置可否判断される。



見守られて横断歩道を渡る
中央小児童

問 岡崎幸田線の歩道未整備箇所の取り組みを、町はどのように考えているのか。

答 建設部長▼関係する地権者の協力と沿線地域の皆さまの、理解と協力が必須。

排水機場の持続可能な管理体制構築を

電動ポンプ自動化と遠隔操作導入を検討

問 排水機場の役割が、農地と都市部の防災へと変化してきた。排水機場を町管理とすべきでは。

答 環境経済部長▼農地を守る受益者の運転体制維持に努める。

問 持続可能な排水機場管理体制構築を。電動ポンプ自動化と、遠隔操作導入を検討していく。